

堀岡製本印刷(有)環境行動計画

2021年6月11日

取組方針

堀岡製本印刷有限会社は、当社の経営理念である『製本業を通じて、印刷関連業界の発展に寄与し、かつ、お客様への安心と、エンドユーザーへの満足を提供することと地域社会への貢献を基本としてスタッフの物心両面の幸福を追い求める』をモットーに、顧客ニーズにあった製本加工業をしています。

また、当社の事業活動を進めていく中で、環境保全が重要課題の一つであることを認識し、企業活動と地球環境との調和をめざし、高い目標の環境保全に積極的に取り組み、企業活動を通じて地球環境に貢献します。このため、私たちは、事業活動に伴う環境への負荷を少なくするために、以下の取組を社員一丸となって推進します。

- ①事業活動中での省エネルギーと省資源（紙使用量の節減・節水）
- ②環境保全に取り組みリサイクルの配慮や廃棄物の削減
- ③環境配慮資材の優先購入に努めます。
- ④従業員への環境教育を実施し環境意識の高揚に努めます。

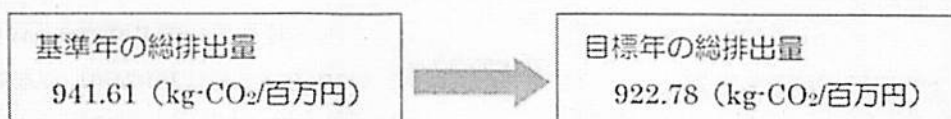
この方針に基づいて社員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知します。

2013年6月14日
堀岡製本印刷有限会社
代表取締役社長 堀岡 昭夫

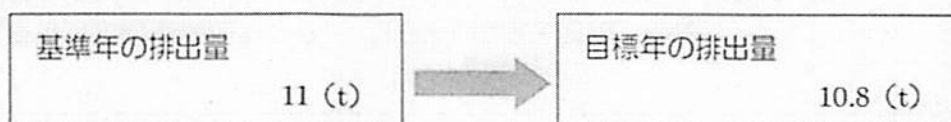
■ 環境負荷の低減目標

2022 年に向けての環境負荷の低減目標は、次のとおりです。（数値的な低減目標についての基準は、いずれも 2020 年です。）

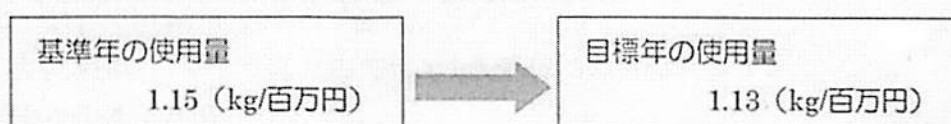
【目標 1】 二酸化炭素の総排出量(売上高当たり)を 2%削減する



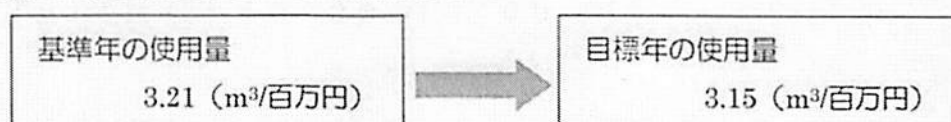
【目標 2】 一般廃棄物の適正管理・リサイクルの推進により排出量を 2%削減する



【目標 3】 コピー用紙の使用量 (売上高当たり) を 2%削減する



【目標 4】 水使用量 (売上高当たり) を 2%削減する



■ 環境保全に向けた具体的な取組

【取組 1】 二酸化炭素総排出量の削減

(事務所・作業場での取組)

- ・ 使用していないエリアの消灯・空調の停止を徹底する
- ・ 温度計を設置し、空調機の設定温度を管理する（夏：28℃ 冬：20℃を目安とする）
- ・ 無理のない範囲で空調の使用時間を短くする（30 分前のスイッチオフ）
- ・ 従来型蛍光灯を高効率蛍光灯や LED 照明に交換する
- ・ 社内の照明については日中出来る限り外光を取り入れて節約する
- ・ 空調機器の一斉の起動を避ける（運転時間の前倒しやフロア毎の時間調整）
- ・ デマンド監視装置を導入し、設定を契約電力の 10~15%とし、警報発生時に予め決めておいた節電対策を実施する
- ・ クールビズ・ウォームビズに取り組む
- ・ 節電担当者を決め、節電パトロールを実施する
- ・ 従業員に対して、節電の重要性を啓発する会議を行う

(車両での取組)

- ・ 社用車の効率的な使用（運転経路、相乗り）を徹底する
- ・ アイドリングの防止と無駄のないアクセル操作を心がける

【取組2】 廃棄物の適正管理と排出量の削減

- 廃棄物は決められたゴミ箱に区別して出す
- ファイル・フォルダーなどは繰り返し使用する
- 仕入れ・納入にはできるだけ通い箱を使用する
- 再使用、リサイクルしやすい製品を優先的に購入する
- ウェス、軍手は使用限度を定め、無駄に廃棄しない
- 詰め替え可能な製品を優先的に購入・使用する
- 排出する廃棄物の重さを計り、記録する
- 紙のリサイクルに努める
- 製品をできるだけ長期間使用する

【取組3】 コピー用紙使用量の削減

- 作成資料を印刷する際は、パソコン画面上での確認を励行する
- 顧客情報等を含まない不要な文書、毀損したコピー用紙の裏面を再利用する
- 社内資料は、両面コピー、縮小コピー、裏面活用に努める
- 会議資料等の削減に努める（資料のコンパクト化、必要最低部数のコピー）
- コピーをする場合は、その必要性を十分考える

【取組4】 水使用量の削減

- 配管からの漏水を定期的に点検する
- 効率的な水の利用に取り組む
- 節水に努める

5 環境行動計画の実施体制

この環境行動計画に基づき環境保全活動を効果的に実施するため、環境管理責任者を中心に組織的に取り組むとともに、その進捗状況を定期的にチェックします